

「君津の里山のにぎわい」によせて

緑豊かな自然と良好な環境に恵まれた君津市で、市民誰もが健康で心豊かに過ごすためには、市民の暮らしの最も身近にある里山との関わりやその活用が望まれます。



里山は、農地、樹林地、水源など多様な自然環境を有する地域であり、長年にわたる人と自然のかかわりを通じて維持・形成され、多種多様な生物の生息・生育環境としても重要な役割を果たす場所です。

暮らしの最も身近にある空間であり、人々はその場所を里山・裏山と呼び大切にしてきました。また、そこは経済活動に密着した生業の命山でもありました。

千葉県では、里山の素晴らしさを守り伝える為に2003年5月18日、全国初の「里山条例」を制定し、県内各地で里山シンポジウムを開催してきました。本年は千葉県第3次里山基本計画が発表されました。

そこで、第11回里山シンポジウム in 君津を平成26年5月18日に、「里山、裏山、命山・その恵みと創造」をテーマに、君津市生涯学習交流センターを会場にして里山活動の実践を「見る、聞く、触れる、味わう、嗅ぐ」、「つくる、遊ぶ、学ぶ」をキーワードとしてシンポジウムを開催することができました。

成果の一つとして、このシンポジウムを契機として、君津市内の里山の荒廃や有害鳥獣等の身近な問題の現状や課題を展望することができました。また、他市町村の団体及び台湾国の活動団体と里山の保全、整備及び有効活用事業に関心を持つ個人及び団体と情報交換や連携を図ることができました。

ここに、参加いただいた君津市内の団体活動紹介フォーマット集「君津の里山のにぎわい」を作成することができました。この他にも君津市内には多くの活動団体がありますが、今回は第11回里山シンポジウム in 君津で活動紹介の発表や展示、実演、販売等でご協力いただいた団体のみで紹介となってしまいました。

今後とも、私たちの活動「里山に託す私たちの未来（持続可能な自然との共存）」にご理解をいただき、ご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成26年5月18日

里山シンポジウム in 君津実行委員会
会長 鈴木 宗男